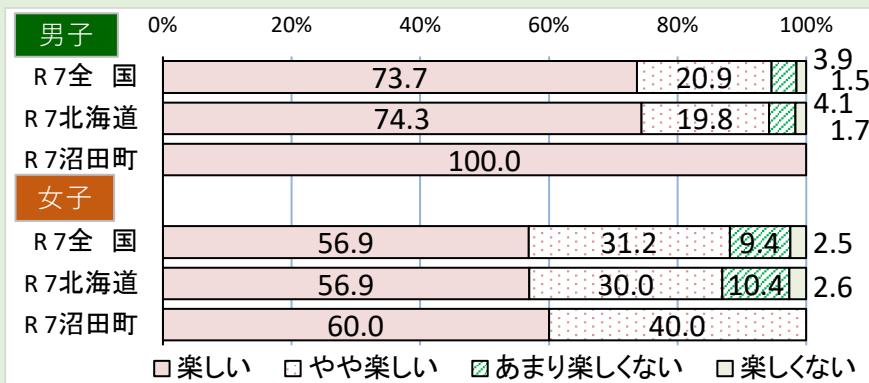


○ 質問調査（児童生徒質問調査）の状況

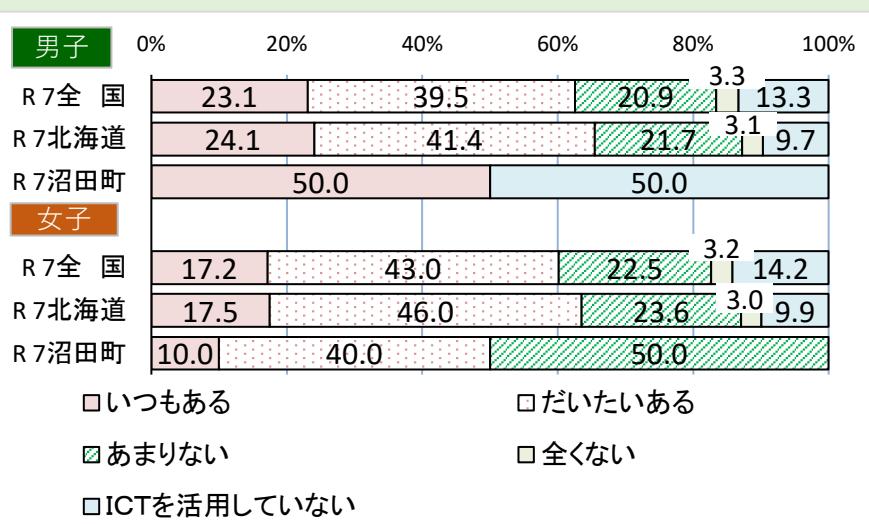
小学校

【児童質問調査】

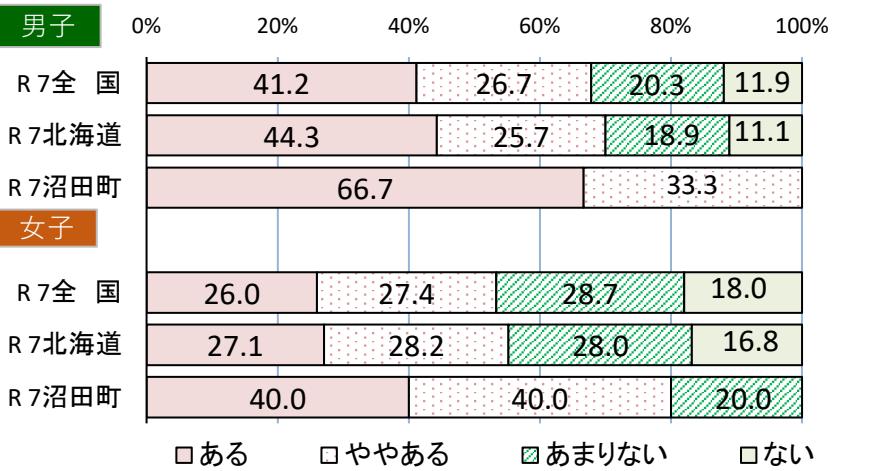
- ・体育の授業は楽しいですか



- ・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



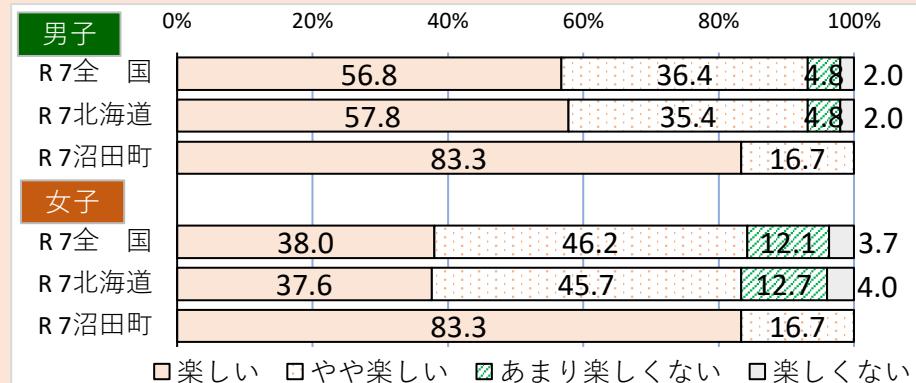
- ・運動やスポーツへの様々な関わり方について、興味や関心がありますか。（運動やスポーツを通じて様々な人が集まって交流したり、つながりや一体感を感じたりすること）



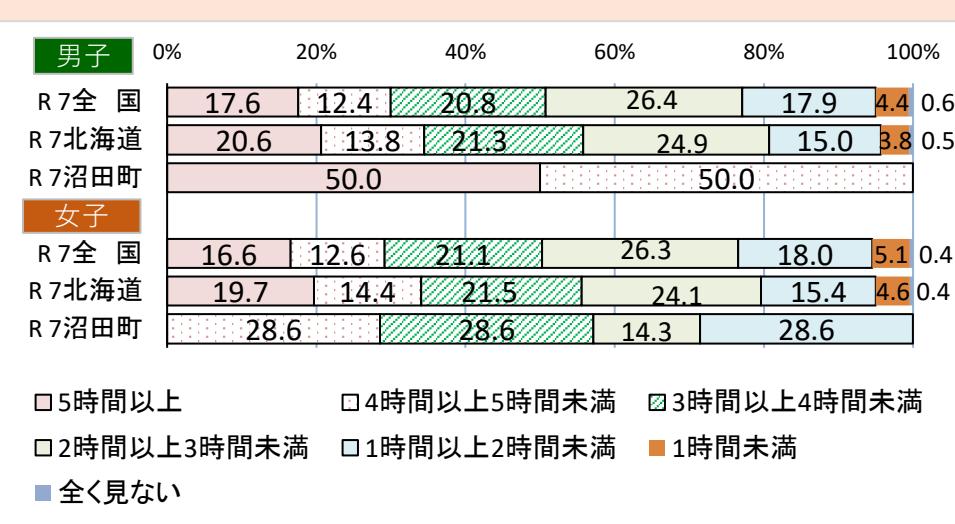
中学校

【生徒質問調査】

- ・保健体育の授業は楽しいですか



- ・平日、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

- ・小学校において調査対象の全児童が、体育の授業が楽しい・やや楽しいと回答している。また、スポーツをすることや、スポーツを通じた交流等、スポーツへの関わりについても興味を強くもっており、クラブへの参加等により、日常的な運動習慣の定着も全道・全国平均以上となっている。本校で実施している、地域スポーツクラブによるトレーニング授業の取組や、各活動で関わる地域の指導者の支援によって、児童が運動に親しめる環境が形成されていると考えられる。

【課題】

- ・学校質問によると、ICTの使用頻度は週1回程度であり、撮影による動きの確認等で活用が図られているものの、一部の児童には、「できる」や「わかる」に繋がっていないと見られ、目標到達を意識させる補助教材としてのICT機器の運用には、改善の余地があると考えられる。

中学校

【成果】

- ・中学校において調査対象の全生徒が、保健体育の授業を楽しい・やや楽しいと回答しており、楽しいと回答した割合が全道・全国平均を大きく上回っている。特に男子はスポーツを行う、見る、支える、知ることへの興味が強く、卒業後も自主的に運動をしたいと考える生徒が多い。小学校の成果と同様に、中学生においても、町全体でスポーツに親しめる環境が整えられていると考えられる。

【課題】

- ・男女ともに、規則正しい生活習慣の定着について課題が見られる。特に、電子機器を見る時間が比較的長く、睡眠時間が全道平均より短い。また、女子において、スポーツに親しむ生徒とそうでない生徒との間に二極化が見られる。部活動参加生徒が平均以上の時間で運動している一方で、運動することや交流に対して興味がない生徒も見られる。スマートフォン等の電子機器の普及や、各人の趣味や興味が多様化した結果と考えられる。

■ 沼田町の体力向上に向けた改善方策

- ・沼田学園協議会保体部における、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や、体育・保健体育授業の改善・充実に係る資料の作成及び普及啓発
- ・基礎体力の向上を目指した体育授業の充実
- ・休み時間における、運動器具の設置や運動スペースの確保
- ・地域スポーツクラブ（N-Link）との連携による、朝活動時の体力向上活動
- ・課題に応じた運動プログラムの導入
 - 柔軟性の向上やスピード強化のための運動を積極的に取り入れる